

アフリカの難民と 難民受け入れ地域の 課題解決に向けた 革新的なビジネスアイデアコンテスト 本選開催！

8月3日(日)

14:15～16:30

大阪・関西万博
テーマウィーク

難民を受け入れているエチオピア、ウガンダ及びザンビアにおいて、
ビジネスを通じた持続可能な難民支援の実現と、優れた製品・技術・
サービスの事業化を支援するために、ビジネスアイデアコンテストを開催します！

プログラム

1. 開会挨拶
2. 事業概要等の紹介
3. 事前審査を勝ち抜いた
7名によるビジネスアイデア
最終プレゼンテーション
4. ウガンダ大会動画上映
5. 結果発表、閉会挨拶

イベント観覧方法

✓ 現地観覧

万博チケットを購入の上、[右のリンク](#)から観覧予約(無料)

✓ オンライン視聴 無料

- ▶ [右のリンク](#)から申し込みの上、当日
万博公式サイトからのリンクからご視聴
または
- ▶ バーチャル万博からも視聴可能！
※要アプリDL・登録



司会



陣内 智則
お笑いタレント



武村 貴世子
ラジオパーソナリティ

審査員

独立行政法人
国際協力機構
アフリカ部 次長
内田 久美子

一般社団法人
Welcome Japan
代表理事
金 辰泰

Novastar
Ventures Ltd,
Director
山内 理希

UNHCR
駐日事務所代表
(予定)



- 主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）
- 共催：国連高等弁務官事務所（UNHCR）駐日事務所、一般社団法人 Welcome Japan
- 協賛：株式会社国際開発センター、NPO法人アクセプト・インターナショナル
- 運営・問い合わせ：コンテスト事務局（有限責任監査法人トーマツ内）メール: nanminpitch-office@tohmatu.co.jp

難民課題の解決を目指すビジネスアイデアコンテスト 本選出場者(順不同)



Dots for

独自技術とバナンとセネガルの350以上の村で活動し、住民の収入を100倍にした実績と経験を難民課題解決に活かす。

ウガンダ

株式会社Dots for (法人)

案件名:

デジタルで学び、スマホで稼げる。情報格差と機会格差を圧倒的な安価でどこでも設置できるアフリカのデジタルデバイド
難民のためのデジタルプラットフォーム

デジタルデバイドの地域を誰でも基礎知識不要で簡単に、そして数時間で超低コストでデジタル化する独自技術である「分散型通信インフラ」と、アフリカ農村の様々な課題をスマホを通じて解決する「デジタルサービスプラットフォーム」を提供する



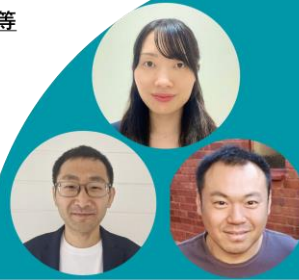
ザンビア

主に日本や欧州の消費者ブランドやリテールチェーン、及びその先にいる一般消費者をターゲットにサステナブルな綿製品の展開を広げる。(Ron HermanやBEAMS等で販売実績)

farmers 360°link (グループ)

案件名: farmers 360°linkを通じたザンビアでの綿花等輸出・換金作物の生産拡大とコミュニティの発展支援

farmers 360°link (以後「FL360」)は農家と消費者を繋ぐプラットフォームである。消費者は製品のQRコードからスマホ上で生産者や農作業、自然・労働環境への配慮等の背景情報を確認。又、購入代金の一部が現地に還元され社会インフラ・サービスの導入や生産性向上を支援。消費者は現地コミュニティが発展する様子を確認出来る。難民等影響地域へのFL360の導入で、世界の消費者を巻き込みながら難民・元難民の収入向上とコミュニティの発展に寄与する



難民女性に特化したオフグリッドBPO (ビジネスプロセスアウトソーシング) プラットフォームにより難民キャンプから国際的に活躍するAI人材を輩出する未来を。

ウガンダ

Kazi Connect (グループ)

案件名:「インフラ × スキル × 雇用」で世界とつながる。
難民発、「はたらく力」と「つながる力」で切り拓く次世代デジタル経済圏

Kaziコネクトでは難民、特に女性を対象に、通信インフラ整備、ITトレーニング、機器共有などの基盤支援を行い、AI用データ入力等のタスクによる収入・スキル習得の機会を提供。業務委託による安定収益を難民のインターネットアクセス向上に循環させることで、キャンプ内にいながらも、世界と繋がりを、経済的自立と未来の選択肢を広げる仕組みを目指す



大学機関との共同開発によって生み出したアフリカの農業廃棄物を利用する革新的な技術と特許にこだわらないオープン戦略でアフリカを照らす。

ウガンダ
(想定)

ライト アップ アフリカ (グループ)

案件名: アフリカメイドのEDLCでアフリカを照らす

EDLCは構造がシンプルで簡単に作れる二次電池の仲間で、先端的な技術が必要とせず、日本でも古くから生産されている。EDLCの多くは電極材に鉱物系活性炭を使用するが、アフリカ農村部で多く発生する農業残渣を使った植物系活性炭等を使用することにより、アフリカで誰もが簡単に生産できる環境負荷の少ないEDLCを開発し、難民地区を含むアフリカ全域で電気にアクセスできる環境を作り出すことを目指す



国内トップクラスの営農型太陽光発電技術者が率いる取得済み特許技術を活かした世界最大規模のソーラーシェアリングプロジェクト。

エチオピア

株式会社TERRA (法人)

案件名: Megelle Solar Oasis Project ~世界最大規模の社会課題解決型ソーラーシェアリング~

エチオピアでは農業の不安定化、食料とエネルギー不足が難民・国内避難民の自立を阻害している。ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電以下SS)の実績を活かし、立体的な土地利用により持続可能な再生エネルギー普及と農業振興及び六次化を実施して、工業団地とIDPキャンプを擁するメケレ市(Meqelle/ティグライ州首都)の総合再生を図る持続可能なアフリカモデルを構築を目指す



LIM-KAWANO & Co. 日本の中小企業やスタートアップを主要顧客ターゲットとし、IT人材不足解消とスキルや就労意欲が高い難民の就労機会の創出を同時に実現していく。

ウガンダ

Lim-Kawano & Company株式会社 (法人)

案件名: DignityHub -難民向け雇用創出プラットフォーム-

難民にBPOやIT開発業務の仕事機会を提供するマッチングプラットフォームを構築。世界的なIT人材不足とバックオフィス業務の外注ニーズを背景に、初期はコンサルジェムによる手動マッチング、将来的にはシステムが自動マッチングを行う自律運営型プラットフォーム化を目指す



Cor-an Holdings

国際的にも先駆的な「複合的課題に対する複合的解決策」となるビジネスモデルを構築し難民と共に。

ウガンダ

Cor-an Holdings (法人)

案件名:モリソングで世界を変える -ウガンダと先進国の課題を独自技術molyphenol®で同時解決-

高栄養価のモリソングと輸出用花卉を同一圃場で複合栽培することで、難民の食料安全保障向上と収入創出を同時に実現。鉱山跡地を再生活用し、日本発の特許技術によるモリソングからの高機能成分「モリフェノール™」抽出と残渣の食品利用で付加価値を創出し、モリソング植林によるカーボンクレジット化で環境と経済の両立を図る持続可能な難民支援モデルを構築する

